

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 5 部門第 2 区分  
 【発行日】平成29年11月30日 (2017.11.30)

【公開番号】特開2016-84905(P2016-84905A)  
 【公開日】平成28年5月19日 (2016.5.19)  
 【年通号数】公開・登録公報2016-030  
 【出願番号】特願2014-219455(P2014-219455)  
 【国際特許分類】

**F 1 6 K 5/06 (2006.01)**

【F I】

F 1 6 K	5/06	K
F 1 6 K	5/06	A

【手続補正書】

【提出日】平成29年10月19日 (2017.10.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ボデー内に設けた貫通孔を有するボールの一方又は双方にボールシートを装着したシートリテーナを配設し、前記ボールをステムを介して回動可能に設け、前記ボールシートは、前記シートリテーナに形成した装着溝内に飛び出しを防止し、かつフリーな状態で装着したボールバルブにおいて、全閉時または全開時のキャピティ内の異常昇圧による余剰の圧力をこの圧力を利用した自緊力で前記シートリテーナをボールとは反対方向に移動させ、かつ、装着溝内のボールシートの裏面側に流入した前記余剰の圧力でボールシートをボール側に押し出してボールシートの内周面と装着溝との間に設けた連通部を介して流路内にリリースするようにしたことを特徴とするトラニオン型ボールバルブ。

【請求項 2】

前記装着溝の内周の開口側に設けた係合部に前記ボールシートの外周装着側に設けた係止部を装入方向に係止可能に対向させて前記シートリテーナの装着溝からの前記ボールシートの飛び出しを防止し、前記ボールシートを前記装着溝にフリーな状態で装着した請求項 1 に記載のトラニオン型ボールバルブ。

【請求項 3】

前記装着溝内周に設けためねじ部を係合部とし、このめねじ部に前記ボールシートのおねじ部を係止部として螺合し、前記おねじ部の後端側と前記めねじ部の後端側とを係止可能に設けて前記ボールシートの飛び出しを防止した請求項 2 に記載のトラニオン型ボールバルブ。

【請求項 4】

前記めねじ部内端のねじ山と前記おねじ部外端のねじ山とを係止させて前記ボールシートの飛び出しを防止した請求項 3 に記載のトラニオン型ボールバルブ。

【請求項 5】

前記ボールシートの内周面、または、この内周面に対向するシートリテーナの装着溝に、前記連通部を構成する少なくとも一つのリリース溝を形成した請求項 1 乃至 3 の何れか 1 項に記載のトラニオン型ボールバルブ。